

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適用 適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感 染	Dtsch Med Wochenschr 2007; 132: 1098-1100	頭痛と発熱のため入院し、髄膜炎症状を示した42歳男性の脳脊髄液および血液培養からグラム陽性菌が検出され、生化学的方法によりStreptococcus suisと特定された。アンピシリンとセフトリアキソンで治療された。男性は肉屋で、手や前腕に切り傷を負うことがよくあった。S. suisによる感染はヨーロッパでは稀であるが、ブタへの職業的暴露がある場合には考慮すべきである。
												E型肝炎	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1094-1096	フランスの41歳女性が1ヶ月程、疲労感が続いたため、血液検査をしたところ、肝酵素値の著しい上昇を示し、HEV抗体、HEV特異的IgMおよびHEV RNAが検出され、E型肝炎と診断された。症状の出る8週間前に患者はフランス生まれのベトナム人ブタを飼育し始めており、そのブタの血清から、HEV RNAが検出された。ブタのHEVは患者と同じ遺伝子型3で、スクレオオナドで92%、アミノ酸で98%の相同性を有した。
629	2007/10/15	70629	アスピオ ファーマ	インターフェロン 換え)	ガンマ-1a(遺伝子組 換え)	人血清アル ブミン	米国	添加物	有	無	無	感染	ProMED- mail20070419:1284 PressTV 2007年4 月18日	イラン当局によると、イラン南東部で1人が死亡した疾患の原因は依然として不明である。症状は発熱、咽頭痛、リンパ腺の炎症、全身痛であるが、コレラやH5N1トリニア ルエンザではないとしている。
												感染	ProMED- mail20070521:1627 Caboodle.hu 2007 年5月21日	ハンガリーで原因不明の疾患に1家族15人が罹り、2007年5月19日にその内1人が死亡した。死亡したのはKecskenetの49歳男性で、家族のうち数名は軍隊に入っており、1名は外国にいた。高熱とインフルエンザ症状を呈し、入院した。この家族は病院で隔離されている。現在、病気を同定するための検査が行われている。
												感染	ProMED- mail20070909:2978	ブラジルのMarajo島で、原因不明の疾病により10日以内に子供4人が死亡したが、4歳の少女が5人目の犠牲者となった。先週死亡した小児の姉妹で、家族によると、高熱、嘔吐、痙攣といったマラリアまたは髄膜炎を示唆する症状を示した。予備検査では診断が確定しなかった。疾患を媒介する昆虫を探索中である。